

# 令和4年度 事業報告書

## 1. 助成事業

令和4年度の助成事業は、研究活動費助成、海外渡航費助成および長期間海外派遣滞在費助成の公募を行い、総額2,802万円を実施しました。令和4年度公募の概況は、以下の通りです。

### (1) 研究活動費助成事業

岡山県内の研究機関に所属する研究者に対する研究費の助成を目的とした研究費助成事業は、2022年3月1日から4月15日まで、大学等の研究機関を通じて一般公募を行いました。

その結果、91件の応募があり、選考委員会において、以下の74件の研究に対して助成を行うことを決定し、2,580万円の助成を実施しました。

- |    |   |       |
|----|---|-------|
| 1  | 腫瘍微小環境における細胞傷害性CD4陽性T細胞の本態解明<br>岡山大学学術研究院 医歯薬学域 教授 富樫 庸介                              | 800千円 |
| 2  | エクソソームに搭載される新規キナーゼの癌促進機能の解明<br>岡山大学学術研究院 医歯薬学域 講師 江口 傑徳                               | 400千円 |
| 3  | 深海に潜む超高感度光受容タンパク質の探索と深部オプトジェネティクスへの展開<br>岡山大学学術研究院 医歯薬学域 助教 小島 慧一                     | 200千円 |
| 4  | 肺癌幹細胞と腫瘍微小環境を標的とした革新的腫瘍免疫療法の開発<br>岡山大学病院 呼吸器・アレルギー内科 研究准教授 大橋 圭明                      | 200千円 |
| 5  | 非対称化を鍵とするピシクロ[3.2.1]オクタン環含有テルペノイドの迅速合成<br>岡山大学学術研究院 自然科学学域 准教授 溝口 玄樹                  | 450千円 |
| 6  | 円偏光発光材料を志向した高次アザヘリセンの開発<br>岡山大学学術研究院 自然科学学域 助教 前田 千尋                                  | 350千円 |
| 7  | サブライチェーンにおけるデータ駆動型進化計算手法の開発<br>岡山大学学術研究院 自然科学学域 助教 劉 子昂                               | 310千円 |
| 8  | 不整地未知環境における自律型ロボットのための自己増殖型ニューラルネットワークに基づく環境適応型空間知覚システム<br>岡山大学学術研究院 自然科学学域 助教 戸田 雄一郎 | 450千円 |
| 9  | ナノ微粒子材料としての各種ベントナイト材料の膨潤特性に及ぼす温度の影響に関する熱力学的研究<br>岡山大学学術研究院 自然科学学域 准教授 佐藤 治夫           | 450千円 |
| 10 | 緊急対策外来種アメリカザリガニの防除による生物多様性回復の評価<br>岡山大学学術研究院 環境生命科学学域 教授 中田 和義                        | 350千円 |
| 11 | UAVグリーンレーザと深層学習を併用した河道の地被分類法の開発<br>岡山大学学術研究院 環境生命科学学域 准教授 吉田 圭介                       | 450千円 |
| 12 | 瀬戸内地域の観光に資する建築資産の活用手法に関する研究<br>岡山大学学術研究院 環境生命科学学域 准教授 堀 裕典                            | 400千円 |
| 13 | 斜面安定のための疎水材層の多層構造システムの検討<br>岡山大学学術研究院 環境生命科学学域 准教授 金 秉洙                               | 400千円 |
| 14 | 数値解析を用いた斐伊川放水路の沈砂池における土砂堆積特性に関する検討【特定研究分野】<br>岡山大学学術研究院 環境生命科学学域 准教授 赤穂 良輔            | 980千円 |
| 15 | 飼料用生菌剤への応用に向けた高免疫賦活化能を有するバクテリオシン産生乳酸菌の選抜と評価<br>岡山大学学術研究院 環境生命科学学域 准教授 畑生 俊光           | 400千円 |
| 16 | 高効率有機薄膜太陽電池を指向した新規電子欠損型骨格を有するp型半導体高分子の開発<br>岡山大学 異分野基礎科学研究所 助教 森 裕樹                   | 350千円 |

17	可視光による短寿命活性種の発生を基盤とした複素環化合物の合成 岡山大学 異分野基礎科学研究所 助教 田中 健太	350 千円
18	実際の現象を確率的に考える能力の育成を目指した学校数学の確率の授業デザイン [※その 他分野] 岡山大学学術研究院 教育学域 助教 石橋 一昂	150 千円
19	三瓶火山の最新活動と噴火形態【特定研究分野】 岡山大学学術研究院 教育学域 教授 松多 信尚	780 千円
20	がん患者の療養支援に向けた中小規模施設における看護師長のパフォーマンスに関する研究 岡山県立大学 保健福祉学部 准教授 名越 恵美	260 千円
21	仮想空間で身体性アバタを活用した看護コミュニケーション教育支援システム 岡山県立大学 保健福祉学部 助教 高林 範子	260 千円
22	血小板型 12-リポキシゲナーゼの NASH 進展における肝線維化に及ぼす影響 岡山県立大学 保健福祉学部 助教 戸田 圭祐	260 千円
23	人とロボットの瞬時接触動作が生み出す身体的インタラクション特性の解析 岡山県立大学 情報工学部 助教 太田 俊介	250 千円
24	ゲーム AI の深層強化学習の研究 岡山県立大学 情報工学部 助教 芝 世忒	250 千円
25	マスク着用下における様々な条件での歩行が歩容および注意に及ぼす影響 岡山県立大学 情報工学部 准教授 大下 和茂	250 千円
26	深層学習に基づく写真に対する審美的品質の推定技術と改善技術の確率 岡山県立大学 情報工学部 准教授 滝本 裕則	250 千円
27	身体ストレス簡易可視化システムのための指尖脈派解析アルゴリズムの開発 岡山県立大学 情報工学部 教授 綾部 誠也	300 千円
28	オンライン会議システムにおける身体引き込みエージェントの研究開発 岡山県立大学 情報工学部 准教授 石井 裕	250 千円
29	細粒度のソフトウェア変更に伴う不具合の予測手法に関する調査 岡山県立大学 情報工学部 准教授 天寄 聡介	200 千円
30	閑谷学校の水利技術と学びの場について－閑谷学校の環境技術に関する研究－ 岡山県立大学 デザイン学部 教授 向山 徹	230 千円
31	国立台南芸術大学と岡山県立大学の工芸系デザインに関する研究交流を目的とする展覧会にお ける連携事業（実験茶室とワークショップ）の効果について 岡山県立大学 デザイン学部 准教授 渡邊 操	250 千円
32	エリアリノベーション時代の地域建設業の役割と業態に関する研究 岡山県立大学 デザイン学部 准教授 穂苅 耕介	230 千円
33	水を溶媒としたハロゲンフリーで定環境負荷な難燃性リグノセルロースナノファイバーの開発 岡山理科大学 理学部 准教授 大坂 昇	350 千円
34	酸化的環化反応を利用した含窒素ナノグラフェンの簡便合成と機能開拓 岡山理科大学 理学部 准教授 岩永 哲夫	350 千円
35	脳内蓄積タンパク質に着目したうつ病発症のメカニズムの解明 岡山理科大学 理学部 准教授 橋川 直也	350 千円
36	フラーレン内包多孔亜鉛ポルフィリンダイマーに基づく光レドックス触媒の創製 岡山理科大学 理学部 教授 満身 稔	350 千円
37	地域の防災マニュアル策定に寄与する中小河川洪水予測が可能な AI センサネットワークと避難 タイミング判断システムの実装【特定研究分野】 岡山理科大学 工学部 講師 小田 哲也	790 千円
38	環境調和型オレフィン合成を活用した光電変換用色素の創製 岡山理科大学 工学部 教授 折田 明浩	350 千円
39	細胞死抑制技術を駆使した高機能立体組織の作製と応用性の検討 岡山理科大学 生命科学部 准教授 神吉 けい太	370 千円
40	鬼と日本人－吉備文化を中心に－ [※その他分野] 岡山理科大学 教育学部 教授 萩原 桂子	300 千円

- |    |  |        |
|----|--|--------|
| 41 | ピリジンが縮環したシロール合成法の開発とその性質<br>倉敷芸術科学大学 生命科学部 教授 仲 章伸   | 350 千円 |
| 42 | 岡山県産「ママカリ」がもつ遺伝的特殊性およびその要因の解明<br>倉敷芸術科学大学 生命科学部 准教授 山野 ひとみ                                     | 350 千円 |
| 43 | 就学前発達障害児における口腔機能発達を目指した器具の開発<br>吉備国際大学 保健医療福祉学部 准教授 森下 元賀                                      | 350 千円 |
| 44 | 粘土鉱物と有機化合物のハイブリッドからなる高輝度円偏光発光薄膜の開発<br>津山工業高等専門学校 総合理工学科 講師 守友 博紀                               | 250 千円 |
| 45 | 植物プロテアソームシャペロン PBAC5 の構造と機能の解析<br>津山工業高等専門学校 総合理工学科 准教授 高木 賢治                                  | 400 千円 |
| 46 | 双方向可変剛性機構によるロボット義足に関する研究<br>津山工業高等専門学校 総合理工学科 講師 野中 摂護   | 300 千円 |
| 47 | 桃果実の成熟期決定機構の分子解析<br>岡山県農林水産総合センター生物科学研究所 流動研究員 深松 陽介   | 230 千円 |
| 48 | 地球温暖化による環境ストレスから作物を守る！新規バイオスティミュラントの研究開発<br>岡山県農林水産総合センター生物科学研究所 流動研究員 鳴坂 真理                   | 230 千円 |
| 49 | モモせん孔細菌病抵抗性に関与する遺伝子マーカー探索<br>岡山県農林水産総合センター生物科学研究所 流動研究員 嘉美 千歳                                  | 230 千円 |
| 50 | 野菜の在来品種に潜在する機能性の探索およびその強化<br>岡山県農林水産総合センター生物科学研究所 専門研究員 逸見 健司                                  | 230 千円 |
| 51 | 鳥類 KIAA0319L 遺伝子の発現調節機構の解析<br>就実大学 薬学部 教授 工藤 季之  | 300 千円 |
| 52 | 岡山県市区町村におけるコロナ禍での災害対策の現状【特定研究分野】<br>就実大学 薬学部 助教 吉井 圭佑  | 660 千円 |
| 53 | 抗肺腺癌化分子としての脂質メディエーター分解酵素の発生工学的研究<br>川崎医科大学 薬理学 教授 岡本 安雄  | 300 千円 |
| 54 | 海馬神経回路のシナプス形成を制御する分子機構の解明<br>川崎医科大学 解剖学 准教授 林 周一   | 300 千円 |
| 55 | 脳イメージング技術を応用した転倒リスク評価システムの開発<br>川崎医科大学 神経内科学 教授 三原 雅史  | 230 千円 |
| 56 | 軟骨魚類の心臓解析を通じた哺乳類の心疾患脆弱性解明<br>川崎医科大学 生理学 I 講師 花島 章  | 300 千円 |
| 57 | QGIS を用いた小田川上流地域の空間データ分析【特定研究分野】<br>岡山商科大学 経営学部 講師 藤本 宏美                                       | 400 千円 |
| 58 | ウイルス感染由来の倦怠感に対する Acetyl-L-Carnitine の予防効果<br>川崎医療福祉大学 医療技術学部 助教 濱田 大幹                          | 500 千円 |
| 59 | 免疫系を駆使した損傷骨格筋への新たなアイシング戦略の開発<br>川崎医療福祉大学 医療技術学部 助教 川島 将人                                       | 500 千円 |
| 60 | 1980 年代の岡山県の方言音声に関するアーカイブ研究 -セをシェ、ゼをジェと発音する口蓋化音声の<br>分析- 【※その他分野】<br>ノートルダム清心女子大学 文学部 教授 尾崎 喜光 | 200 千円 |
| 61 | 保育士のキャリア・パスペクティマップの作成と離職防止介入策の考案 【※その他分野】<br>山陽学園大学 総合人間学部 准教授 松浦 美晴                           | 250 千円 |
| 62 | ダウン症児の母親に対する就労継続支援プログラムの開発～企業の人材不足改善に向けた取り組み～<br>【※その他分野】<br>山陽学園大学 総合人間学部 准教授 上地 玲子           | 250 千円 |
| 63 | 災害弱者の健康管理に向けた栄養教育方法の検討【特定研究分野】<br>山陽学園短期大学 健康栄養学科 教授 岩崎 由香里                                    | 410 千円 |
| 64 | プレゴールデンエイジ期におけるキンダートーネン（子ども体操）運動学習に関する科学的動作解析と<br>DX推進 【※その他分野】<br>中国学園大学 国際教養学部 准教授 佐々木 公之    | 130 千円 |

65	「速く走る」走り方指導法の開発 環太平洋大学 体育学部 講師 梶谷 亮輔	250 千円
66	女性アスリートの腕振り動作改善を目指したトレーニング方法の開発 環太平洋大学 体育学部 講師 品田 直宏	250 千円
67	デイトレーニングがアスリートの競技パフォーマンスに与える影響 環太平洋大学 体育学部 助教 明石 啓太	400 千円
68	小学生の運動能力向上を目指した効果的な運動プログラムの開発～鬼ごっこに着目して～[※その他分野] 環太平洋大学 体育学部 助教 田中 耕作	300 千円
69	日本人サンプルにおける Attachment Affective Picture System の利用可能性の評価 [※その他分野] 環太平洋大学 次世代教育学部 専任講師 中井(松尾) 和弥	200 千円
70	終末期維持血液透析患者の医療・ケア方針の検討に関わる看護実践に関する研究 新見公立大学 健康科学部 助教 安藤 亮	200 千円
71	成長期女子トップアスリートにおける長期トレーニングが腎機能及び骨吸収に与える影響 岡山医療専門職大学 健康科学部 教授 安田 従生	300 千円
72	胎盤形成に対する炎症抑制因子 HRG と炎症惹起因子 HMGB1 の拮抗的生理調節機構の解析 岡山医療専門職大学 健康科学部 教授 勅使川原 匡	290 千円
73	大原-児島コレクションの形成・招来・公開に関する基礎調査【特定研究分野】 公益財団法人大原美術館 学芸課 主任学芸員 孝岡 睦子	1,000 千円
74	ゲノム編集を用いた腎臓病の病態解明と治療法の開発 重井医学研究所 分子遺伝部門 部長 松山 誠	290 千円

## (2) 海外渡航費助成事業

岡山県内の研究機関に所属する研究者に対する海外渡航費の助成を目的とした海外渡航費助成事業は、2022年3月1日から4月15日まで、大学等の研究機関を通じて一般公募を行いました。

その結果、2名の応募があり、以下の2名の研究者に対して42万円の助成を実施しました。

- 1 The International Symposium on Organic Reactions(ISOR-15)に参加・発表・情報収集  
岡山大学学術研究院 自然科学学域 准教授 黒星 学 170 千円
- 2 エジンバラ大学の測定装置を用いた共同研究(微惑星内部実験試料の三次元組織観察)  
岡山大学学術研究院 自然科学学域 教授 寺崎 英紀 250 千円

## (3) 長期間海外派遣滞在費助成事業

岡山県内の研究機関に所属する研究者に対する海外派遣滞在費の助成を目的とした長期間海外派遣滞在費助成事業は、2021年9月15日から10月31日まで、大学等の研究機関を通じて一般公募を行いました。

その結果、3名の応募があり、選考委員会において、以下の2名の研究者に対して助成を行うことを決定し、180万円の助成を実施しました。

- 1 無症状患者における、非造影冠動脈CTを用いた炎症評価による冠動脈疾患リスク層別化法の確立《ハーバーUCLAメディカルセンター》  
岡山大学病院 循環器内科 医員 市川 啓之 900 千円
- 2 植物性食品成分が生体脂質に及ぼす影響《ユニバーシティ オブ サンパウロ》  
岡山大学学術研究院 環境生命科学学域 助教 中村 俊之 900 千円

## 2. 優秀研究者表彰事業

この事業は、当財団の研究活動費助成事業で実施した研究をもとに、学会等に論文として発表することで学術的に評価された研究実績を上げた研究者や、研究成果を実用化させるなど大きく社会に貢献・活用される功績を上げた研究者を表彰するものです。

令和4年度は、14件の応募があり、審査の結果、受賞者は以下の2名に決定しました。

宮野 佳（川崎医科大学 生化学分野 助教）

【研究題目】「活性酸素生成酵素 Nox の制御機構の破綻メカニズムの解明」  
：令和元年度・2年度研究活動費助成事業

【審査評価】研究成果を論文発表し、優れた学術的功績を上げている

松山 誠（重井医学研究所 分子遺伝部門 部長）

【研究題目】「新規ゲノム編集ラット作製法 rGONAD 法を用いた腎臓病モデルラットの開発」  
：平成30年度研究活動費助成事業

【審査評価】研究成果を論文発表し、優れた学術的功績を上げている

令和4年度優秀研究者賞受賞者の表彰式は、2023年6月1日に開催され、表彰状と副賞（研究奨励金30万円）が贈呈されます。

また、令和4年度の事業費として実施された「令和3年度優秀研究者表彰事業」は、2名の受賞者に対して表彰状と副賞を贈呈し、656千円を支出しました。

## 3. 研究者交流事業

定款第4条第1項第6号に掲げる事業は、次のとおり総額620千円を実施しました。

### (1) 交流会事業

この事業は、助成を受ける研究者とその関係者の交流並びに情報交換を目的に、優秀研究者表彰式開催後と研究発表会開催後に開催されますが、令和4年度は、新型コロナウイルスの感染拡大状況を鑑み中止としました。

### (2) 研究発表会事業

この事業は、助成を受ける研究活動における最先端技術の開発状況を研究者が自ら発表することにより、研究成果の普及を促し、各分野における技術開発の推進及び発展に寄与することを目的に行うものです。令和4年度は、新型コロナウイルスの感染拡大状況を鑑み中止としました。

### (3) 事業報告書の作成

令和4年度の事業状況及び学術研究費助成の研究成果報告書をまとめた事業報告書110部を作成しました。尚、この事業報告書の作成費は令和5年度予算により実施されます。

また、令和4年度の事業費として実施された「令和3年度事業報告書」作成費は、620千円となります。

#### 4. 処務の概要

##### (1) 役員に関する事項

###### 理 事

(2023年3月31日現在)

役職名	氏 名	常勤非常勤 の別	手当	現職名	備考
理事長	山地 弘	非常勤	無	(株)ウエスコホールディングス 取締役会長	
理 事	千葉 喬三	非常勤	無	中国学園大学 学長	
理 事	波田 善夫	非常勤	無	岡山理科大学 名誉教授	
理 事	大崎 紘一	非常勤	無	岡山大学 名誉教授	
理 事	沖 陽子	非常勤	無	岡山県立大学 学長	
常務理事	山室 正人	非常勤	無	株式会社ウエスコ 取締役業務推進本部長	

###### 監 事

(2023年3月31日現在)

役職名	氏 名	常勤非常勤 の別	手当	現職名	備考
監 事	福原 一義	非常勤	無	福原一義公認会計士事務所	
監 事	中村 洋文	非常勤	無	(株)ウエスコホールディングス 経営管理本部 経理部長	

###### 評 議 員

(2023年3月31日現在)

役職名	氏 名	常勤非常勤 の別	手当	現職名	備考
評議員長	松原 利直	非常勤	無	(株)ウエスコホールディングス 代表取締役社長	
評議員	藤原 健史	非常勤	無	岡山大学学術研究院 環境生命科学学域 教授	
評議員	富田 栄二	非常勤	無	中国職業能力開発大学校 校長	
評議員	高橋 吉孝	非常勤	無	岡山県立大学 保健福祉学部 教授	
評議員	原田 育秀	非常勤	無	株式会社中国銀行 代表取締役専務	
評議員	北村 彰秀	非常勤	無	株式会社ウエスコ 代表取締役社長	

##### (2) 職員に関する事項

(2023年3月31日現在)

職 名	氏 名	常勤非常勤 の別	手当	担当事務	現職名	備考
職 員	永山 彰	非常勤	無	総務全般	(株)ウエスコホール ディングス 社員	
職 員	本間 誠之	非常勤	無	総務全般	(株)ウエスコホール ディングス 社員	
職 員	島田 泰宏	非常勤	無	総務全般	(株)ウエスコホール ディングス 社員	
職 員	服部 佑哉	非常勤	無	総務全般	(株)ウエスコホール ディングス 社員	

### (3) 役員会等に関する事項

#### ①理事会

回	開催年月日	議 事 事 項	会議の結果
第1回	2022年5月15日	・第1回評議員会開催の件	書面で同意を得た
第2回	2022年6月2日	・令和3年度事業報告及び付属明細書の承認の件 ・令和3年度貸借対照表及び損益計算書並びにこれらの付属明細書の承認の件 ・第2回評議員会開催の件 ・銀行借入額決定の件 ・理事長及び常務理事の職務執行状況報告 ・令和4年度助成者決定の報告の件	書面で同意を得た 書面で同意を得た 書面で同意を得た 書面により報告した 書面により報告した 書面により報告した
第3回	2022年10月17日	・株式会社ウエスコホールディングス定時株主総会における議決権行使の件	書面で同意を得た
第4回	2022年12月5日	・第3回評議員会開催の件	書面で同意を得た
第5回	2023年1月26日	・令和5年度事業計画承認の件 ・令和5年度収支予算承認の件 ・特定資産取崩しの件 ・銀行借入の件 ・理事長及び常務理事の職務執行状況報告	書面で同意を得た 書面で同意を得た 書面で同意を得た 書面で同意を得た 書面により報告した
第6回	2023年3月31日	・選考委員1名選任の件	書面で同意を得た

#### ②評議員会

回	開催年月日	議 事 事 項	会議の結果
第1回	2022年6月2日	・理事会第1号議案「令和3年度事業報告及び付属明細書報告の件」 ・理事会第2号議案「令和3年度貸借対照表及び損益計算書並びにこれらの付属明細書報告の件」 ・銀行借入額決定の件 ・理事長及び常務理事の職務執行状況報告 ・令和4年度助成者決定の報告の件	書面により報告した 書面により報告した 書面により報告した 書面により報告した 書面により報告した
第2回	2022年6月17日	・令和3年度事業報告・貸借対照表及び損益計算書並びにこれらの付属明細書の承認の件	書面で同意を得た
第3回	2023年1月26日	・令和5年度事業計画承認の件 ・令和5年度収支予算承認の件 ・特定資産取崩しの件 ・銀行借入の件 ・理事長及び常務理事の職務執行状況報告	書面で同意を得た 書面で同意を得た 書面で同意を得た 書面で同意を得た 書面により報告した

(4) 主務官庁等の許可、認可及び承認に関する事項

該当なし

(5) 寄附金に関する事項

該当なし

(6) 契約に関する事項

該当なし

(7) 主務官庁の指示に関する事項

該当なし

(8) 税法上の収益事業の有無

該当なし

(9) その他の注意事項

該当なし

## 5. 事業報告書の附属明細書

2023年3月期における重要事項は無く、期末における事業報告書の附属明細書に記載すべき事項はありません。

# 貸借対照表

2023年 3月 31日 現在

(単位：円)

科 目	当 年 度 (2023/3/31)	前 年 度 (2022/3/31)	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	6,836,079	5,703,388	1,132,691
流動資産合計	6,836,079	5,703,388	1,132,691
2. 固定資産			
(1)基本財産			
投資有価証券	988,111,000	952,327,000	35,784,000
普通預金	20,000,000	20,000,000	0
基本財産合計	1,008,111,000	972,327,000	35,784,000
(2)特定資産			
公益目的事業積立預金	18,900,000	17,500,000	1,400,000
特定資産合計	18,900,000	17,500,000	1,400,000
(3)その他固定資産			
什器備品	9,829	26,209	△ 16,380
その他固定資産合計	9,829	26,209	△ 16,380
固定資産合計	1,027,020,829	989,853,209	37,167,620
資産合計	1,033,856,908	995,556,597	38,300,311
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	105,600	101,796	3,804
流動負債合計	105,600	101,796	3,804
負債合計	105,600	101,796	3,804
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
受贈投資有価証券	958,000,000	922,000,000	36,000,000
投資有価証券	30,111,000	30,327,000	△ 216,000
受贈定期預金	20,000,000	20,000,000	0
基本財産運用益	18,900,000	17,500,000	1,400,000
指定正味財産合計	1,027,011,000	989,827,000	37,184,000
(うち基本財産への充当額)	1,008,111,000	972,327,000	35,784,000
(うち特定資産への充当額)	18,900,000	17,500,000	1,400,000
2. 一般正味財産	6,740,308	5,627,801	1,112,507
正味財産合計	1,033,751,308	995,454,801	38,296,507
負債及び正味財産合計	1,033,856,908	995,556,597	38,300,311

# 正味財産増減計算書

2022年4月1日 から2023年3月31日まで

(単位：円)

科 目	当年度 (2022.4.1-2023.3.31)	昨年度 (2021.4.1-2022.3.31)	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 基本財産運用益			
基本財産有価証券受取利息	609,000	609,000	0
基本財産受取利息	408	376	32
基本財産運用益取崩額	17,500,000	12,000,000	5,500,000
基本財産受取配当金振替額	13,100,000	11,306,400	1,793,600
基本財産運用益計	31,209,408	23,915,776	7,293,632
② 受取寄附金			
受取寄附金	0	0	0
受取寄附金計	0	0	0
③ 雑収益			
事業費返金	170,000	250,000	△ 80,000
有価証券品貸料	0	5,099,700	△ 5,099,700
受取利息	0	0	0
雑収益計	170,000	5,349,700	△ 5,179,700
経常収益計	31,379,408	29,265,476	2,113,932
(2) 経常費用			
① 事業費			
支払助成金	28,020,000	26,000,000	2,020,000
表彰事業	656,100	656,100	0
印刷費	620,578	631,676	△ 11,098
消耗品費	23,925	54,174	△ 30,249
通信費	203,862	136,410	67,452
事務委託費	384,000	384,000	0
家賃	96,000	96,000	0
減価償却費	15,561	41,496	△ 25,935
事業費計	30,020,026	27,999,856	2,020,170
② 管理費			
会議費	41,650	44,820	△ 3,170
消耗品費	0	0	0
事務手数料	45,843	57,995	△ 12,152
旅費交通費	7,860	4,100	3,760
通信費	0	11,417	△ 11,417
租税公課	480	480	0
事務委託費	96,000	96,000	0
家賃	24,000	24,000	0
減価償却費	819	2,184	△ 1,365
支払利息	30,223	31,520	△ 1,297
管理費計	246,875	272,516	△ 25,641
経常費用計	30,266,901	28,272,372	1,994,529
当期経常増減額	1,112,507	993,104	119,403
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
税引前当期一般正味財産増減額	1,112,507	993,104	119,403
当期一般正味財産増減額	1,112,507	993,104	119,403
一般正味財産期首残高	5,627,801	4,634,697	993,104
一般正味財産期末残高	6,740,308	5,627,801	1,112,507
II 指定正味財産増減の部			0
基本財産評価益	35,784,000	17,706,000	18,078,000
基本財産評価損	0	0	0
基本財産受取配当金	32,000,000	28,806,400	3,193,600
一般正味財産への振替額	△ 30,600,000	△ 23,306,400	△ 7,293,600
当期指定正味財産増減額	37,184,000	23,206,000	13,978,000
指定正味財産期首残高	989,827,000	966,621,000	23,206,000
指定正味財産期末残高	1,027,011,000	989,827,000	37,184,000
III 正味財産期末残高	1,033,751,308	995,454,801	38,296,507

# 正味財産増減計算書内訳表

2022年4月1日 から2023年3月31日まで

(単位：円)

科 目	令和4年度(2022.4.1-2023.3.31)			
	公益目的事業会計	法人会計	内部取引控除	合計
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
① 基本財産運用益				
基本財産有価証券受取利息	578,550	30,450		609,000
基本財産受取利息	408	0		408
基本財産運用益取崩額	17,500,000	0		17,500,000
基本財産受取配当金振替額	11,500,000	1,600,000		13,100,000
基本財産運用益計	29,578,958	1,630,450		31,209,408
② 受取寄附金				
受取寄附金	0	0		0
受取寄附金計	0	0		0
③ 雑収益				
事業費返金	170,000	0		170,000
有価証券品貸料	0	0		0
雑収益計	170,000	0		170,000
経常収益計	29,748,958	1,630,450		31,379,408
(2) 経常費用				
① 事業費				
支払助成金	28,020,000			28,020,000
表彰事業	656,100			656,100
印刷費	620,578			620,578
消耗品費	23,925			23,925
通信費	203,862			203,862
事務委託費	384,000			384,000
家賃	96,000			96,000
減価償却費	15,561			15,561
事業費計	30,020,026	0		30,020,026
② 管理費				
会議費		41,650		41,650
消耗品費		0		0
事務手数料		45,843		45,843
旅費交通費		7,860		7,860
通信費		0		0
租税公課		480		480
事務委託費		96,000		96,000
家賃		24,000		24,000
減価償却費		819		819
支払利息		30,223		30,223
管理費計	0	246,875		246,875
経常費用計	30,020,026	246,875		30,266,901
当期経常増減額	△ 271,068	1,383,575		1,112,507
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益計	0	0		0
(2) 経常外費用				
経常外費用計	0	0		0
当期経常外増減額	0	0		0
他会計振替額				0
税引前当期一般正味財産増減額	△ 271,068	1,383,575		1,112,507
当期一般正味財産増減額	△ 271,068	1,383,575		1,112,507
一般正味財産期首残高	4,200,311	1,427,490		5,627,801
一般正味財産期末残高	3,929,243	2,811,065		6,740,308
II 指定正味財産増減の部				0
基本財産評価益	33,994,800	1,789,200		35,784,000
基本財産評価損	0	0		0
基本財産受取配当金	30,400,000	1,600,000		32,000,000
一般正味財産への振替額	△ 29,000,000	△ 1,600,000		△ 30,600,000
当期指定正味財産増減額	35,394,800	1,789,200		37,184,000
指定正味財産期首残高	941,191,675	48,635,325		989,827,000
指定正味財産期末残高	976,586,475	50,424,525		1,027,011,000
III 正味財産期末残高	980,515,718	53,235,590		1,033,751,308

## 財務諸表に対する注記

2022年4月1日 から2023年3月31日まで

### 1. 継続事業の前提に関する注記

該当はありません。

### 2. 重要な会計方針

#### (1) 有価証券の評価基準及び評価方法

満期保有目的の債券並びに子会社株式及び関連会社株式以外の有価証券は、期末日の市場価格等に基づく時価法を採用している。

#### (2) 固定資産の減価償却の方法

固定資産の減価償却は、次の方式を採用している。  
定率法

#### (3) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

### 3. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
普通預金	20,000,000	0	0	20,000,000
投資有価証券	952,327,000	35,784,000	0	988,111,000
小計	972,327,000	35,784,000	0	1,008,111,000
特定資産				
公益目的事業積立預金	17,500,000	18,900,000	17,500,000	18,900,000
小計	17,500,000	18,900,000	17,500,000	18,900,000
合計	989,827,000	54,684,000	17,500,000	1,027,011,000

(注) 投資有価証券の当期増減額は、前事業年度末における帳簿価額と時価の差額（評価損益）と期中の有価証券の取得および売却を表示しております。

### 4. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産				
普通預金	20,000,000	20,000,000	0	0
投資有価証券	988,111,000	988,111,000	0	0
小計	1,008,111,000	1,008,111,000	0	0
特定資産				
公益目的事業積立預金	18,900,000	18,900,000	0	0
小計	18,900,000	18,900,000	0	0
合計	1,027,011,000	1,027,011,000	0	0

### 5. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
什器備品			
PC一式	208,041	198,212	9,829
合計	208,041	198,212	9,829

### 6. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

内容	金額
経常収益への振替額	
基本財産運用益取崩額へ充当	17,500,000
基本財産受取配当金振替額へ充当	11,500,000
管理費充当額	1,600,000
合計	30,600,000

### 7. その他

該当はありません。

## 財産目録

2023年 3月 31日 現在

(単位：円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額	
1. 流動資産	現金預金	普通預金 山陰合同銀行/岡山支店	運転資金として	24	
		普通預金 中国銀行/奉還町支店	"	1,961,662	
		普通預金 三菱UFJ銀行/岡山支店	"	4,874,393	
	現金預金合計			6,836,079	
流動資産合計				6,836,079	
2. 固定資産	基本財産	投資有価証券	ソフトバンク株式会社社債	公益目的保有財産であり、運用益の95%を研究助成事業等の財源として使用し、残り5%は管理費等の財源として使用している。	30,111,000
		普通預金	中国銀行/奉還町支店	公益目的保有財産であり、運用益を助成事業の財源として使用している。	20,000,000
		投資有価証券	株式会社ウエスコホールディングス株式2,000千株 内、618千株について貸株契約を締結	公益目的保有財産であり、運用益の95%を研究助成事業等の財源として使用し、残り5%は管理費等の財源として使用している。 当該株式は、貸借銘柄であり日本証券金融株式会社との間に貸株契約を締結している。	958,000,000
	基本財産合計			1,008,111,000	
	特定資産	公益目的事業積立預金	普通預金 中国銀行/奉還町支店	公益目的事業の研究助成事業等の財源として積み立てている。	15,000,000
	公益目的事業積立預金	普通預金 三菱UFJ銀行/岡山支店	公益目的事業の研究助成事業等の財源として積み立てている。	3,900,000	
その他固定資産	什器備品	PC一式	共有財産であり、減価償却費の95%を事業の費用とし、残り5%は管理費の費用として使用している。	9,829	
固定資産合計				1,027,020,829	
資産合計				1,033,856,908	
1. 流動負債	未払金	株式会社357に対する未払額	2022年ホームページ更新代未払い分として	105,600	
				105,600	
流動負債合計				105,600	
負債合計				105,600	
正味財産				1,033,751,308	